

主要産地における平成29年産水稻の生育状況等について 第9報 (7月12日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年7月13日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(全道)	生育は、平年並に推移している (遅2日)。草丈は38.3cm (平年差-5.0cm) で短く、葉数は8.6枚 (平年差-0.3枚) で平年並、葉数は506本/m <sup>2</sup> (平年差-30本) でやや少ない。 (北海道農政部 7月1日現在)	・7月の病害虫の発生量は、葉いもち等は平年並、コナメイガは少、ウンカ類は平年並、イネドロオムシはやや少、アザヒゲホミドリカスミカメ (第2回) は平年並、フタオビコヤガは少の予報 (北海道病害虫防除所 6月29日公表)
青森	(生育)	<p>&lt;7月10日現在の生育状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒石の「つがるロマン」は、草丈が54.4cmで平年より5.0cm短いが、株当たり葉数は31.7本で平年並、葉齢は10.3葉で平年並であった。穂首分化期の到達日は7月5日で平年より1日遅かった。また、「青天の霹靂」は、草丈が64.9cmで平年より4.1cm長く、株当たり葉数は33.3本で平年より7.6本多く、葉齢は9.6葉で前年より0.4葉多かった。穂首分化期の到達日は7月3日で前年より1日遅かったが、幼穂形成期の到達日は7/10で前年並であった。</li> <li>十和町の「まっくら」は、草丈が65.1cmで平年並、株当たり葉数は25.3本で前年より1.1本多く、葉齢は10.5葉で平年より0.3葉多かった。穂首分化期の到達日は7月2日、幼穂形成期の到達日は7月8日で、ともに平年より1日早かった。 (青森県産米技術センター・農林総合研究所 7月11日)</li> </ul> <p>&lt;6月30日現在、県生育観測所の生育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「つがるロマン」は草丈がやや短く、葉数及び葉数がほぼ平年並、「まっくら」は草丈が短く、葉数及び葉数が少なかった。葉数からみた生育は、「つがるロマン」がほぼ平年並、「まっくら」がやや遅れているものの、生育は回復傾向にあり、概ね順調である。</li> <li>「つがるロマン」(全県13地点)の草丈は41.3cm (平年比95%)、葉数は20.7本/株 (平年比101%)、葉数は9.2枚 (平年差-0.1)。「まっくら」(全県13地点)の草丈は45.9cm (平年比93%)、葉数は17.8本/株 (平年比95%)、葉数は8.4枚 (平年差-0.4)。「ほっかりん」(下北1地点)の草丈は40.8cm (平年比101%)、葉数は15.2本/株 (平年比83%)、葉数は7.6枚 (平年差-0.3)。 (青森県 7月5日付)</li> </ul>	・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、稲こじ病は平年並の予報、コバネイナゴ、フタオビコヤガはやや多く、アカヒゲホミドリカスミカメは平年並の予報。 (青森県病害虫防除所 6月28日公表)
岩手	(生育)	<p>&lt;7月10日調査結果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県全体の生育は、草丈56.3cmで平年並 (平年差+0.3cm)、葉数は600本/m<sup>2</sup>で平年よりやや多く (平年比107%)、葉数も10.1葉で平年並 (平年差+0.1葉) である。</li> <li>県内の生育は、6月上旬中の低温少照のため、移植時期や栽培方法により圃場ごとの生育差が大きいようであったが、7月の好天により一気に平年並になり、目標葉数 (20~30本/株程度) は、各地ともほぼ確保されている。</li> <li>幼穂形成期は平年並の見込みである。 (中央農業改良普及センター 7月11日)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月5日現在、農業研究センター (北上) の穂丈は概ね平年並であり、葉数、葉色 (SPAD値) は平年を上回っている。葉齢は「あきたこまち」では平年を上回っているが、「ひとめぼれ」「銀河のしずく」は平年を下回っている。「ひとめぼれ」の草丈は53.4cm (平年差+0.1cm)、葉数は788本/m<sup>2</sup> (平年比113%)、葉齢は9.7葉 (平年差+0.2葉)、葉色 (SPAD値) は45.0 (平年差+3.0)。「あきたこまち」の草丈は54.4cm (平年差+1.3cm)、葉数は658本/m<sup>2</sup> (平年比108%)、葉齢は10.1葉 (平年差+0.2葉)、葉色 (SPAD値) は48.0 (平年差+3.9)。「銀のしずく」の草丈は60.7cm (平年差+4.4cm)、葉数は594本/m<sup>2</sup> (平年比104%)、葉齢は9.6葉 (平年差-0.3葉)、葉色 (SPAD値) は46.1 (平年差+4.7)。</li> <li>東北農業研究所 (軽米) の「いわてっこ」は、草丈、葉数、葉齢、葉色とも平年を下回っている。草丈は39.8cm (平年差-5.9cm)、葉数は493本/m<sup>2</sup> (平年差71%)、葉齢は9.1葉 (平年差-0.2葉)、葉色 (SPAD値) は36.5 (平年差-3.2)。 (岩手県農業研究センター 7月7日付)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月23日の一斉生育調査 (22カ所、延べ37品種) の結果、県全体の生育は草丈31.2cmで平年より8.4cm短く、葉数は364本/m<sup>2</sup>で平年より少ない (平年比83%) 状況。葉数は7.6葉で平年より0.8葉少なく、生育は平年より4~5日程度遅れている。葉色の目安であるSPAD値は、平年より低い状況 (平年差-7.3)。直播栽培は、苗立ち本数が少ない圃場もあり、6月上旬中の低温少照の影響もあって生育がやや遅れている圃場もある。 (岩手県 6月29日付)</li> </ul>	・7月の病害虫の発生量は、葉いもち等は平年並、紋枯病はやや多、稲こじ病は少の予報。斑点米カメムシ類(アサジカスミカメ) (第1世代) はやや多、コバネイナゴはやや多、フタオビコヤガ (第2世代) は平年並の予報。 (岩手県病害虫防除所 6月28日付)
宮城	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月10日現在、生育はほぼ平年並に近づき、草丈は58.0cm (平年比98%)、1m当たり葉数は575本 (平年比104%)、葉数は10.8枚 (平年比+0.1)、葉色はGM値が40.0 (平年差+2.3) となっている。</li> <li>幼穂長は1.5mm (平年差-1.2mm) で、幼穂形成初期は平年並の7月9~10日頃であった。このことから、出穂期は平年並の8月5日頃になる見込みである。 (宮城県 7月11日付)</li> </ul> <p>(本吉) 7月10日現在、生育調査ほ (ひとめぼれ)、南三陸町入谷の生育調査ほ (ササニシキ) においては、幼穂が見え始めており、まもなく幼穂形成初期に達するものとみられる。管内の生育については、6月下旬以降は回復傾向にあり、まもなく幼穂形成初期に達するものとみられる。管内の出穂期は8月10日から8月16日頃と予想されている (古川農試)。</p> <p>ひとめぼれ (気仙沼市) の草丈は50.3cm (平年比92%)、葉数は78.1本/m<sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は9.9枚 (平年差-0.6枚)、葉色 (GM値) は34.9 (平年差-2.7)、幼穂長は0.0mm (平年差-0.6mm)、ササニシキ (南三陸町) の草丈は51.1cm (平年比93%)、葉数は54.0本/m<sup>2</sup> (平年比92%)、葉数は10.5枚 (平年差-0.1枚)、葉色 (GM値) は36.2 (平年差+0.5)、幼穂長は0.2mm (平年差-1.5mm)。</p> <p>直播栽培普及展示ほの生育概況 (鉄コトテイング湛水直播) は、草丈、葉数ともに平年を上回り、順調に生育は進んでいる。(宮城県本吉農業改良普及センター 7月11日付)</p> <p>(仙台) 6月30日現在、ひとめぼれ及びササニシキの生育は、平年より1~3日程度遅くなっている。草丈は平年より短め、葉数の増加は平年より後にずれ込み、平年よりやや多めとなっている。まもなく幼穂形成期 (生育調査ほの各ひとめぼれの平均値は7月8日) を迎える。</p> <p>ひとめぼれ (管内平均) の草丈は40.8cm (平年比81%)、葉数は531本/m<sup>2</sup> (平年比110%)、増加葉数 (前回調査からの増加) は149本/m<sup>2</sup> (平年比137%)、葉数は9.7枚 (平年差-0.1枚)、葉色 (GM値) は39.0 (平年差-0.2)。ササニシキ (管内平均) の草丈は41.1cm (平年比85%)、葉数は559本/m<sup>2</sup> (平年比108%)、増加葉数は253本/m<sup>2</sup> (平年比132%)、葉数は9.5枚 (平年差-0.5枚)、葉色 (GM値) は43.0 (平年差+2.7)。 (宮城県仙台農業改良普及センター 7月5日付)</p> <p>(石巻) 6月30日現在の生育調査ほの生育状況は、草丈は、ひとめぼれが平年比80%、ササニシキが平年比83%と短くなっている。葉数は、ひとめぼれが平年比101%、ササニシキが平年比102%と平年並。葉数は、ひとめぼれが平年差-0.3枚、ササニシキが平年差+0.4枚で平年並。葉色 (SPAD値) は、ひとめぼれが平年差+3.0、ササニシキが平年差+2.4でやや濃くなっている。</p> <p>乾田直播湛水ほの生育状況は、播種が4月1日と平年よりかなり早くなったが、4月下旬から5月上旬まで降雨がほとんどなく、土壌が乾燥したため出芽遅れや出芽ムラが生じ、平年より生育が遅れている。 (石巻農業改良普及センター石巻地方づくり推進本部 7月4日付)</p> <p>(栗原) 6月30日現在、ひとめぼれ (生育調査ほ3カ所平均) は、葉数 (平年差+0.1枚) からみると、生育はほぼ平年並に進んでいる。葉数は、平年より多く (平年比120%)、有効葉数 (460本/m<sup>2</sup>) が確保されており、最高分けつ期を迎えていると考えられる。草丈は短く (平年比84%)、葉色 (GM値) は平年並 (平年差+0.6)。葉数と葉色はほ場によって差がある。(栗原農業改良普及センター 7月4日付)</p> <p>(登米) 6月30日現在の生育状況は、平年に比べ、草丈は短め、葉数は平年並だが、ほ場によりバラツキがみられる。葉数は少なめで、生育はやや遅れ。葉色は濃い。生育は引き続き平年より遅れているが、前年に比べ葉数が増加し、葉色が濃くなってきた。</p> <p>直播栽培の生育状況は、前年に比べ、草丈はほ場によりバラツキがみられるが平年並。葉数はほ場によりバラツキがみられるがやや多。葉数は少なめで、生育はやや遅れ。葉色はやや淡め。生育は引き続き前年より遅れているが、葉数はやや多く経過している。(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 7月4日付)</p> <p>(大崎) 6月30日現在、草丈は平年に比べ短い。葉数は、北部平坦のササニシキ及び西部丘陵のまなむすめ、みやこがねちは平年に比べて多く、その他の地点・品種は平年に比べて少ない。葉数は、平年を下回っている。葉色は、西部丘陵のまなむすめ及び山間高冷のやまのしずくを除いて、やや濃い傾向にある。 (大崎農業改良普及センター 7月3日付)</p> <p>(美里) 6月30日現在、草丈は前年および平年より短く、葉数は前年および平年より少ない。葉数は鹿島台ササニシキでは平年並、葉色はひとめぼれ、ササニシキともに平年より濃い。ひとめぼれの県平均は、草丈は40.5cm (平年比81%)、葉数は534本/m<sup>2</sup> (平年比101%)、葉数は9.6枚 (平年差-0.3枚)、葉色 (SPAD値) は43.1 (平年差+2.3)。直播栽培 (鉄コトテイング湛水直播) のひとめぼれ (小中田) は、草丈は31.0cm (平年比90%)、葉数は468本/m<sup>2</sup> (平年比100%)、葉数は7.9枚 (平年差-0.5枚)、葉色 (SPAD値) は42.2 (平年差-0.8)。(美里農業改良普及センター 7月3日付)</p>	・南東北で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
秋田	<p>(由 利) 7月5日の水稲定点調査結果(3品種・移植8か所平均)によると、草丈は42.1cmで平年より短く(平年比82%)、mあたり莖数は530本で平年より少なく(平年比93%)、葉数は9.2葉で平年より遅く(平年差-0.7葉)になった。カメムシ対策として畦畔等の草刈り作業が行われている。また、葉数が確保された圃場では中干しが始まっている。(7月7日付)</p> <p>(雄 勝) 7月5日現在の定点調査(あきたこまち8か所)の生育は草丈41.0cm(平年比83%)、葉数432本/m<sup>2</sup>(同83%)、葉数9.7葉(同81%)、葉色(SPAD)は46.8(平年比93%)となっている。草丈は平年より短く、葉数は依然として平年より少ない状況。葉数から見た生育は平年と比べ1日遅れとなっている。(7月7日付)</p> <p>(秋 田) 7月5日現在の定点調査(あきたこまち10地点平均)の草丈は43.8cm(平年比82%)で平年より短く、1m当たりの葉数は488本(同92%)で平年より少なくなっている。また、葉数は9.7葉(平年差-0.6葉)で平年より少なく、生育は平年よりやや遅くなっている。葉色(葉緑素計値)は43.9(平年比103%)で平年並になっている。(7月10日付)</p> <p>(仙 北) 7月5日現在の生育状況は、草丈42.1(平年比84%)、葉数491本/m<sup>2</sup>(平年比91%)、葉数9.4葉(平年差-0.5葉)となっている。(7月7日付)</p> <p>(北秋田) 7月5日現在のあきたこまちは、草丈46.0cm(平年比89%)、葉数576本/m<sup>2</sup>(平年比93%)、葉数10.0葉(平年差-0.1)。葉数から見た生育は平年並となっており、葉色が平年より濃い状況。(7月7日付)</p>	<p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病、稲こい病はやや少ない、斑点米カメムシ類(アカシカミコメ、アカヒゲホソドリカミカメ)は平年並、フタオビコヤガはやや少ない、コバネイゴは平年並、アワヨトブは多いと予想 (秋田県病害虫防除所 6月30日公表)</p>
山形	<p>(由 利) 7月10日現在、平坦部「はえぬき」の生育は、草丈は55.3cm(平年比99%)、葉数は688本/m<sup>2</sup>(平年比104%)、葉数は10.4葉(平年差0.0葉)でつづれも平年並、葉色(SPAD)は43.9(平年差+2.8)で平年より濃くなっている。農業総合センターによる幼穂の検鏡調査では、「はえぬき」「つや姫」ともほぼ平年並みの出穂と予想している。</p> <p>・7月10日現在の「つや姫」の生育は、草丈は53.3cm(平年比96%)で平年並、葉数は575本/m<sup>2</sup>(平年比105%)で葉数は平年よりやや多く、葉数は10.1葉(平年差0.0葉)で平年並、葉色(SPAD)は41.8(平年差+2.2)で平年より濃くなっている。(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月10日付)</p> <p>(北 村 山) 7月10日現在、葉色の濃い圃場が多く見られる。生育は平年より1~2日程度の遅れ。m<sup>2</sup>葉数は、概ね平年並に確保されているが、やや少ない圃場も散見される。 平坦部「はえぬき」(北山市)の草丈は49.8cm(平年比92%)、葉数は644本/m<sup>2</sup>(平年比107%)、葉数は10.2葉(平年差-0.1葉)、葉色(SPAD)は42.7(平年差+3.4)、平坦部「つや姫」(村山市)の草丈は51.9cm(平年比97%)、葉数は567本/m<sup>2</sup>(平年比99%)、葉数は9.7葉(平年差-0.2葉)、葉色(SPAD)は44.1(平年差+4.5)、中山間部「あきたこまち」(尾花沢市)の草丈は57.4cm(平年比103%)、葉数は704本/m<sup>2</sup>(平年比131%)、葉数は10.2葉(平年差-0.2葉)、葉色(SPAD)は44.3(平年差+1.5)。(オールやまがた米づくり日本一運動 村山地域本部・村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月11日付)</p> <p>6月30日現在のつや姫調査圃場の生育は、指標に対し、草丈は短い、葉数はやや少、葉色はやや濃い、生育進度は3日程度遅れ、例年よりばらつきが大きい。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月6日付)</p> <p>(東 南 村 山) 7月10日現在、草丈は平年よりやや短い、葉数は並~やや少ない、葉色はやや濃い状況。幼穂の発育から出穂期は平年並と見込まれる。「はえぬき」の草丈は51.9cm(平年比86%)で平年より短く、葉数は591本/m<sup>2</sup>(平年比90%)で平年より少なく、葉数は10.1葉(平年差-0.4葉)で平年より少なく、葉色(SPAD)は45.4(平年差+0.8)で平年並。「つや姫」の草丈は57.8cm(平年比100%)で平年並、葉数は560本/m<sup>2</sup>(平年比110%)で平年より多く、葉数は9.8葉(平年差-0.4葉)で平年より少なく、葉色(SPAD)は41.5(平年差+3.5)で平年より濃い。(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月10日付)</p> <p>7月10日現在、つや姫調査圃7か所の生育は、草丈が平年より短く、葉数が並、葉色はやや濃く推移している。幼穂の発育から、つや姫の出穂期は平年並の8月9日頃と見込まれる。(山形つや姫ブランド化戦略推進本部村山地域本部 村山農業技術普及課 7月11日付)</p> <p>(鶴岡田川) 7月10日現在、生育はやや遅れており、出穂はいずれの品種も平年より1~2日程度遅くなる予想。葉色は全般に平年より濃い圃場が多い状況。 幼穂による出穂予想(水田農研 鶴岡での調査結果)は、あきたこまち(早生晩)は7月29日(平年差+1日)、どまんなか(中生早)は7月31日(平年差+2日)、ひとめぼれ(中生晩)は8月4日(平年差+1日)、はえぬき(中生晩)は8月4日(平年差+2日)、つや姫(晩生)は8月12日(平年差+1日)、コシヒカリ(晩生)は8月12日(平年差+2日)の見込み。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月11日付)</p> <p>つや姫の7月10日の調査結果は、平年に比べて短草、葉数は並~やや多かつ、葉色濃く、葉数は1~2日程度遅れている。幼穂からみた出穂期予想は、上清水8/10(平年8/10)、押切8/14(平年8/12)と、平年より2日程度遅くなる見込み。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月10日付)</p> <p>水稲播種後調査圃場の生育状況(6月20日~30日)は、鉄コーティング直播栽培では、平年に比べ葉数少なく、葉数は10日程度遅れ、葉色は平年並。生育は遅れている。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月3日付)</p> <p>(最 上) 7月7日現在、出穂時期は平年より2日程度の遅れと予想。(最上総合支庁農業技術普及課 7月7日付)</p> <p>6月30日現在、生育診断後の調査結果では、全品種で草丈短く、葉数は平年並、葉数は1~3日程度の遅れ、葉色は平年並から濃い状況。現場では、葉数が少ない圃場もあり、葉数は2~5日遅れ、葉色はほ場間の格差が大きい状況。(最上総合支庁農業技術普及課 6月30日付)</p> <p>(置 賜) はえぬき、つや姫の生育は、「草丈:短く」、「葉数:平年並~やや少なく」、「葉色:平年並」、葉色は「濃い」状況。出穂期は「平年並から2日遅い」予想。 (オールやまがた米づくり日本一運動圏地域本部実践班 7月6日付)</p> <p>(置 賜) 6月30日現在、つや姫の生育診断の状況は、指標と比べ、草丈は短いもの、葉数や葉数は指標並みまで回復して、葉色はやや濃い状況。圃場間で生育のばらつきが大きく、特に葉数の差が大きくなっている。 (オールやまがた米づくり日本一運動圏地域本部実践班 7月6日付)</p> <p>(西 村 山) 6月30日現在、平坦はえぬき作柄診断後の生育状況(寒河江市高屋)は、草丈は42.5cm(平年比91%)、葉数は647本/m<sup>2</sup>(平年比109%)、葉数は9.3葉(平年差-0.2葉)、葉色(SPAD)は45.0(平年差+3.9)。葉数の進みはほぼ平年並。草丈はやや短い、葉数は圃場間のバラツキが大きい、葉色はやや濃い。出穂期は、ほぼ平年並の予想。(JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日付)</p> <p>6月30日現在、つや姫の生育は、指標値と比較して、調査圃場の草丈は短く、葉数はやや多く、葉色はやや濃く、葉数は指標値並で経過している。他の圃場でも葉数にばらつきはあるものの、葉数が指標値のため、出穂期は平年並と予想。(JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日付)</p> <p>(酒田飽海) 6月30日現在、はえぬきの草丈は「平年並」、葉数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「濃い」。ひとめぼれは、草丈、葉数、葉数ともに「やや少なく」、葉色は「濃い」。つや姫は、草丈は「短く」、葉数は「やや少なく」、葉数は「少なく」、葉色は「濃い」。葉色は「濃い」。低温で少く堆積していた葉数は、引寄せ少く堆積が、「はえぬき」では「平年並」まで回復している。いずれの品種も、葉色は「濃く」急上昇している。葉数は遅れ気味。直播栽培は、低温の影響を大きく受け、生育量は不足。出穂期は、平年に比べ3日程度遅くなると予測される。生育は例年に比べ「ばらつき」がみられる。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月3日付)</p> <p>6月30日現在、「つや姫」の生育は、前回の調査より葉数が急増中、葉色も濃くなってきている。草丈はやや短い、葉数はやや少ない、葉数は遅れている(圃場間差あり)、葉色(SPAD)はやや濃い(40以上あり)。生育診断圃場の葉齢からみて、出穂期は平年より3日程度遅れる予想。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月3日付)</p>	<p>・南東北で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・7月前半(7月3日~5日)に実施した畦畔・農道におけるすくい取り調査の結果、斑点米カメムシ類の発生確認地点率は75.0%(平年:63.8%)とやや高く、特に南村山、北村山、置賜地区では全地点ですくい取られた。 (山形県病害虫防除所 7月7日公表)</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病はやや少なく、斑点米カメムシ類はやや多く、フタオビコヤガ(イネアトムシ)(第2世代)は少なく、コバネイゴはやや少ないと予想 (山形県病害虫防除所 6月28日公表)</p>
福島	<p>(由 利) 7月4日現在の農業総合センターの生育調査では、各調査場所とも草丈が平年より短く、葉数は平年より多くなっている。他の形態では、本郡(郡山)の主稈葉数は平年より少なく、葉色は平年並から濃く、会津地域研究所(会津坂下)の主稈葉数は平年並、葉色は平年より濃く、浜地域研究所(相馬)の主稈葉数と葉色は平年並となっている。</p> <p>・主稈出葉からみた生育は、本郡(郡山)では平年より4~5日遅れている。一方、5月1日移植の天のつづとひとめぼれは、7月3日に幼穂長1mmの茎が数本確認されており、幼穂形成始期は平年よりやや遅い程度になると予想される。会津地域研究所(会津坂下)と浜地域研究所(相馬)の生育は平年並。 (福島県農林水産部 7月7日付)</p>	<p>・南東北で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予想 (福島県病害虫防除所 6月29日公表)</p>
茨城	<p>&lt;水戸市 6月30日現在&gt;</p> <p>・5月1日移植 幼穂の発育程度から予測される「あきたこまち」の出穂期は平年より3日遅く、「コシヒカリ」の出穂期は2日遅い。平年と比べ、草丈は高品種ともに短く、葉数は「あきたこまち」が平年並、「コシヒカリ」がやや多く、葉色は「あきたこまち」が濃く、「コシヒカリ」が平年並である。</p> <p>・5月10日移植 「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は平年より1日遅い。草丈は平年より短く、葉数はやや多く、葉色はやや濃い。</p> <p>(茨城県農業総合センター-農業研究所 7月5日付)</p> <p>&lt;龍ヶ崎市 6月27日現在&gt;</p> <p>・4月27日移植 6月26日時点の幼穂長は、「あきたこまち」で20.9mm、「コシヒカリ」で0.7mmであった。幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」で平年より1日早い7月12日頃、「コシヒカリ」では平年より2日遅い7月15日頃である。高品種の生育は、草丈・葉色ともに平年並である。</p> <p>・5月8日移植 「あきたこまち」は、6月27日時点で幼穂が1.0mm確認できた。幼穂長から予測される出穂期は平年より4日遅く、7月21日頃である。「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、平年より5日早い。高品種の草丈は平年並、葉色は「あきたこまち」で平年よりやや濃く、「コシヒカリ」で平年並である。</p> <p>(茨城県農業総合センター-農業研究所 7月5日付)</p>	<p>・北関東で縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・7月の葉いもち、斑点米カメムシ類の発生量は県下全域で平年並と予想(茨城県病害虫防除所 6月29日公表)</p> <p>・県西地域、県南の一部地域でイネ縹葉枯病の発生量が多いと予想(茨城県病害虫防除所 6月12日公表)</p>
栃木	<p>&lt;早稲栽培コシヒカリの6月22日調査結果(16か所平均)&gt;</p> <p>・草丈は49.4cmでやや短く(平年比95%)、葉数は576本/m<sup>2</sup>でやや多く(103%)、葉齢は10.1で平年より0.1多く、葉色は4.0で平年より0.5低い。地域によりバツキがあるが、葉齢から判断して、生育は平年並から1日程度進んでいると考えられる。</p> <p>・生育診断値(葉色×葉数)は平年比92%と小さい。</p> <p>・早稲コシヒカリ(5月4日移植)の出穂期は、宇都宮市、大田原市とも平年より4日程度早いと推定される。 (栃木県農政経営技術課 6月26日付)</p>	<p>・北関東で縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・6月下旬~7月下旬の縹葉枯病の発生量はやや多いと予想 (栃木県農業環境指導センター 6月16日公表)</p>

	<p style="text-align: center;">平年に対する遅速等</p>	<p style="text-align: center;">同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）</p>
<p>埼玉</p>	<p>&lt;センター内生育相 7月5日現在&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培（5月2日播 ｺﾝｼﾞｶﾘ）は、好天により概ね順調な生育である。莖数は、高温により平年を上回って推移し過繁茂が懸念されたが、中干しが良好に実施できたため、莖数の急増が抑えられ、移植後60日調査では概ね平年並となっている。莖数は平年並に推移していたが、中干し後、伸長が抑えられ、平年より1割程度短く推移している。幼穂分化も早く、7月1日時点で幼穂長が4～5mm程度（平年値0.1mm）であり、出穂期は平年（平年値7月26日）より1週間程度早まると予想。</li> <li>・早稲栽培（5月19日播 影のかがやき）は、強風により葉が傷み、初期生育はやや抑制気味であった。莖数は移植後20日調査では平年を上回っていたが、以降、好天により回復し、平年を上回って推移している。莖数は平年より1割程度短く推移している。葉位の進展は速く、移植後40日調査では平年より1枚近く進んでいる。</li> <li>・普通栽培（6月26日播 キヌヒカリ）は、好天により活着は良好である。</li> </ul> <p>&lt;県内全般 7月5日現在&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培では生育は進んでおり、中干しは概ね順調に行われた。幼穂の分化は5～7日程度早まっている。</li> <li>・早稲栽培の生育は、ｺﾝｼﾞｶﾘや影のかがやきなどの中早生品種では数日早まっている。影のかがやきなどの晩生品種では平年並からやや早まっている。</li> <li>・普通栽培の生育は、活着が良好で初期生育も概ね順調である。</li> </ul> <p>（埼玉県農業技術研究センター 6月2日現在）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少、紋枯病、ヒメトビウカ、綿葉枯病はやや多、ツマグロヨコバイはやや少、イネノムシ（第2世代幼虫）（イネモンジセリ）は平年並、セジロウカはやや多、斑点米カメムシは多、イネアオムシ（第3世代幼虫）（フタバヒコヤガ）は平年並との予報（埼玉県病害虫防除所 6月28日公表）</li> <li>・関東でイネ綿葉枯病（ヒメトビウカ）の発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付）</li> </ul>
<p>千葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月26日現在、4月20日頃に移植した「ふさおとめ」、「ふさこがね」は平年と比較してやや早く幼穂形成期を迎えた。6月第3、4年旬はやや低温に推移し、「ふさおとめ」、「ふさこがね」の出穂期は平年並になると予測される。「ｺﾝｼﾞｶﾘ」の幼穂形成期も平年並と予測される。また、5月1日頃に移植した「ｺﾝｼﾞｶﾘ」の莖数はやや多くなっている。</li> </ul> <p>（千葉県農林水産部 6月28日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東でイネ綿葉枯病（ヒメトビウカ）の発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付）</li> <li>・向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病（葉いもち）、ばか苗病は平年並、イネドロオムシは少、ジャンボタニシはやや多、イネクロカメムシは平年並、ヒメトビウカはやや多、セジロウカはやや少の予報（千葉県農林総合研究センター 6月14日公表）</li> </ul>
<p>新潟</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月10日現在、出穂期は、ｺﾝｼﾞｶﾘ、こしいぶきとも前年より5日程度（平年より2日程度）遅れる見込み。ｺﾝｼﾞｶﾘ・こしいぶきとも、県平均では移植後に比べ莖数は「並」、莖数は「多い」、葉数の進みは「遅」、葉色は「濃い」状況。こしいぶきの出穂期は平年より1日遅い7月30日と予想される。（新潟県農林水産部 7月11日付）</li> <li>（柏崎）7月10日現在、こしいぶきとｺﾝｼﾞｶﾘともに葉色は濃くなっている。指標値と比較して、莖数は並、葉数はやや多い、葉数は並、葉色は濃い。</li> <li>こしいぶき（3カ所平均）の生育状況は、莖数は58cm（指標比94%）、葉数は498本/m<sup>2</sup>（指標比111%）、葉数は11.2枚（指標差+0.2枚）、葉色（SPAD値）は42.5（指標差+5.5）、ｺﾝｼﾞｶﾘ（6カ所平均）の生育状況は、莖数は66cm（指標比101%）、葉数は545本/m<sup>2</sup>（指標比121%）、葉数は10.8枚（指標差+0.1枚）、葉色（SPAD値）は39.3（指標差+4.3）。（柏崎農業普及指導センター 7月11日付）</li> <li>7月10日現在、新之助の生育は、莖数はやや長く、葉数は多い。葉数、葉色のほ場差が大きくなっている。</li> <li>生育状況（3カ所平均）は、莖数は58cm、葉数は611本/m<sup>2</sup>、葉数は11.0枚、葉色（SPAD）は37.1。（柏崎農業普及指導センター 7月10日付）</li> <li>（岩船）7月10日現在、指標値と比較して、莖数は並、葉数は並～やや少、葉数は並～やや遅、葉色はやや濃い。ｺﾝｼﾞｶﾘの生育は、中山間地域でやや遅れているものの、平坦地では、ほぼ平年並の生育進捗に近づきつつある。ｺﾝｼﾞｶﾘの最高分け時期は、7月5日～7月10日頃であり、葉数は平坦地では指標値に比べ並、中山間地域ではやや少となっている。早生品種の幼穂形成期は、平年比3日程度遅くなっているが、こしいぶきは幼穂形成期に達しているほ場が多く見られる。</li> <li>ｺﾝｼﾞｶﾘ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、莖数は59cm（指標比97%）、葉数は435本/m<sup>2</sup>（指標比94%）、葉数は10.5葉（指標差-0.2葉）、葉色（SPAD値）は39.7（指標差+4.3）。（村上農業普及指導センター 7月10日現在）</li> <li>（三糸）7月10日の調査結果（管内ｺﾝｼﾞｶﾘ35カ所、こしいぶき8カ所平均）は、ｺﾝｼﾞｶﾘの莖数は66cm（指標比102%）、葉数は461本/m<sup>2</sup>（指標比94%）、葉数は10.8葉（指標差±0.0葉）、葉色は38.2（指標差+1.7）。こしいぶきの莖数は58cm（指標比94%）、葉数は477本/m<sup>2</sup>（指標比93%）、葉数は11.1葉（指標差-0.5葉）、葉色は40.7（指標差+3.7）。ｺﾝｼﾞｶﾘは、前期調査から莖数が急伸長し、葉色は依然濃い。こしいぶきは、依然葉色が濃い状況である。（三条農業普及指導センター 7月10日付）</li> <li>（新発田）7月10日の生育概況（7月10日調査）は、莖数は63cmで指標比99%（並）、葉数は508本/m<sup>2</sup>で指標比118%（多）、葉数は10.8葉で指標差±0.1葉（並）、葉色は葉緑素計39.3で指標差+2.8（濃）。葉数の進みは平年並となっているが、出穂は平年より3日程度遅い（5/10移植ｺﾝｼﾞｶﾘ→8/11出穂）と予想される。莖数は前期調査から急伸しており、葉色も速く推移していることから倒伏が懸念される。早生品種の出穂期は、平年比4日程度遅れる見込み。（新発田農業普及指導センター 7月10日付）</li> <li>（新潟）7月10日調査の結果、ｺﾝｼﾞｶﾘは目標に比べて、莖数はやや短、葉数は並、葉数の進みはやや遅、葉色は濃い。前期調査（6/29）から莖数が約2.1cm/日（平年1.4cm/日）の速度で急伸した。</li> <li>ｺﾝｼﾞｶﾘ（調査点数9）の莖数は61cm（目標比91%）、葉数は455本/m<sup>2</sup>（目標比99%）、葉数は10.8葉（目標差-0.5葉）、葉色（SPAD値）は37.9（目標差+2.2）。こしいぶき（調査点数2）の莖数は58cm（目標比93%）、葉数は570本/m<sup>2</sup>（目標比119%）、葉数は11.5葉（目標差-0.2葉）、葉色（SPAD値）は39.9（目標差+1.9）。新之助（調査点数2）の莖数は61cm（目標比93%）、葉数は541本/m<sup>2</sup>（目標比93%）、葉数は11.1葉（目標差+0.1葉）、葉色（SPAD値）は38.8（目標差+0.8）。出穂期はこしいぶきは平年より3日遅い7月30日、ｺﾝｼﾞｶﾘは平年より4日遅い8月10日の見込み。新之助は前年より5日遅い8月16日の見込み。（新潟県農業普及指導センター 7月10日付）</li> <li>（長岡）7月10日現在、ｺﾝｼﾞｶﾘの生育は、指標値に比べ莖数は並、葉数は並、葉数は並、葉色はやや濃い～濃い状況となっている。田植日等により生育の進みに差があり、幼穂形成期はほ場ごとにばらつき見込みである。一部に葉色の濃いほ場も見られる。葉数は指標値並で、5月10日播のｺﾝｼﾞｶﾘでは出穂期は平年より2日程度遅い8月1日と予想される。こしいぶき定点調査ほ（長岡市乙吉町、5月7日播）の幼穂形成期は7月7日であり、出穂期は7月31日（前年よりも6日遅い）と予想される。（長岡農業普及指導センター 7月10日付）</li> <li>（十日町）7月10日現在の生育状況は、葉色は「濃く」推移し、莖数は急激に伸長し指標値「並」で、葉数は「多」で分けの淘汰は緩慢。早生品種の幼穂の確認状況から、出穂予想は平年より2日遅い見込み。</li> <li>管理対策推進員ほ場含む29ほ場の調査結果は、平坦地の莖数は並～やや短く、葉色はやや濃い。高標高地の莖数は並で、一部ほ場で長く、葉色はやや濃い。台地の莖数は並～短く、葉色は濃い。</li> <li>出穂期は全品種ともに平年と比較し、平坦地・高標高地ともに2日遅い見込み</li> <li>（十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 7月10日公表）</li> <li>（佐渡）7月10日現在、葉数が多く葉色が濃い状態が続いている。莖数もここ数日で急伸しており、倒伏の懸念が出てきた。</li> <li>ｺﾝｼﾞｶﾘ（拠点ほ場8カ所の平均）の生育状況は、莖数は59cm（目標値比98%）、葉数は542本/m<sup>2</sup>（目標値比123%）、葉数は10.8葉（目標値差-0.4葉）、葉色（SPAD値）は38.3（目標値差+1.3）。</li> <li>（佐渡農業普及指導センター 7月10日付）</li> <li>（津南町）6月30日現在の生育状況は、莖数は「短い」、葉数は「平年並」、葉数は「平年並」、葉色は「平年並」の状況。出穂期は、平坦地、台地ともに平年より2日遅い見込み。（十日町地域農業振興協議会 7月6日公表）</li> <li>（上越）6月29日現在、ｺﾝｼﾞｶﾘの生育は、莖数短く、葉数は多く、葉色は濃く、生育過剰傾向。ｺﾝｼﾞｶﾘの出穂期は、平年並の8月6日の見込み（前年比に比べ4日程度遅い）。こしいぶきは7月31日頃、新之助は8月11日、みずほの播きは8月14日頃の見込み。（上越農業普及指導センター 7月6日付）</li> <li>6月29日現在、「ｺﾝｼﾞｶﾘ」の生育は、莖数は短い（指標値比88%）、葉数は多い（指標値比145%）、葉数は並（指標値差-0.1葉）、葉色は濃い（SPAD値+3.3）。低温が続いているため、莖数は短くなっているが、葉色は濃く、葉数は急増し、過剰となっている。「こしいぶき」の生育も、莖数は短く、葉数は多く、葉色は濃くなっている。（上越農業普及指導センター 6月29日付）</li> <li>（巻）6月29日調査の結果、生育の特徴は、指標値に比べ莖数は「短い」、葉数は「並」、葉数は「やや遅い」、葉色は「並～やや遅い」。ｺﾝｼﾞｶﾘ（西浦区全体）の莖数は42cm（指標比76%）で「短い」、葉数は487本/m<sup>2</sup>（指標比101%）、葉数は9.6葉（指標差-0.5葉）、葉色（SPAD）は39.7（指標差+0.7）で「並～やや遅い」。こしいぶき（管内8カ所）の莖数は41cm（指標比86%）、葉数は576本/m<sup>2</sup>（指標比109%）、葉数は9.8葉（指標差-0.7葉）、葉色（SPAD）は41.5（指標差+3.5）。新之助（管内8カ所）の莖数は33cm（指標比81%）、葉数は525本/m<sup>2</sup>（指標比87%）、葉数は9.6葉（指標差-0.6葉）、葉色（SPAD）は39.4（指標差+2.4）。早生の出穂期は、4日程度遅れる予想。（巻農業普及指導センター 6月29日付）</li> <li>（魚沼）6月29日のｺﾝｼﾞｶﾘ生育調査結果（14地点平均値）は、莖38cm（指標値比82%）、葉数488本/m<sup>2</sup>（指標値比98%）、葉数8.9葉（指標値差-0.6葉）、葉色（SPAD値）40.4（指標値差+3.4）。指標値に比べ、莖数は短い、葉数は並（多～少）、葉数はやや遅い、葉色は濃い。葉数はほ場間差が大きく、5月下旬播きのほ場では特に少ない。（魚沼農業普及指導センター 6月29日付）</li> <li>（糸魚川）6月29日現在、ｺﾝｼﾞｶﾘ（田植日：5月2～22日）の生育状況は、指標値に比べ莖数は短い、葉数は多い、葉数はやや少、葉色は濃い。5月10日頃までの田植えほ場では、緑色が始まっている。中干しを強めたほ場では急激に緑色している。下葉が黄化しているほ場もみられる。5月中下旬の田植えほ場では、6月20日以降に莖数と葉色が急激に増加している。現時点の予想では、出穂期は概ね平年並、前年比に比べ3日程度遅くなる見込み。（糸魚川地域農林振興部 6月30日付）</li> <li>（南魚沼）6月29日現在、ｺﾝｼﾞｶﾘ（生育調査地点14カ所の平均）の生育状況は、莖数は30cmで短く（指標値比86%）、葉数は258本/m<sup>2</sup>でやや少ない（指標値比92%）、葉色（SPAD値）は37.2で並（指標値差-0.8）、葉数は7.5葉で並（指標値差±0.0）。5月中旬以前に田植したほ場では、十分な莖数が確保されている。（南魚沼地域振興局農林振興部普及課 6月22日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸で紋枯病と斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</li> <li>・7月の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少ない、紋枯病、稲こじ病、ニカメイチュウ、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類は平年並、イネアオムシはやや少ない、コノメイガ、コバネイナゴは平年並との予報（新潟県病害虫防除所 6月29日公表）</li> </ul>





	平年に対する遅速等	向及及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期水稲の生育は順調で有効茎は確保され、中干し時期となっている。出穂期は平年比3～4日早い7月中旬の見込み。</li> <li>・普通期水稲は、5月中旬～6月上旬植えは、田植え後高温で経過したため活着がよく、生育は順調。平坦地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が田植えの最盛期となる見込み。（福岡県農林業総合試験場 平成29年6月15日現在（専技情報より抜粋））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月のセジロウシ、トビロウシの発生量は平年並と予報（福岡県病害虫防除所 6月30日公表）</li> </ul>
熊本		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南九州で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</li> <li>・7月の病害虫の発生量は、早期水稲の穂いもちはやや少、早植え水稲の葉いもちはやや少、普通期水稲の葉いもちはやや多と予報。早植え・普通期水稲のツマグロヨコバイ、ヒメトビウシ、トビロウシは平年並、セジロウシはやや少と予報。早期・早植え水稲の紋枯病は平年並、普通期のコブノメイガは平年並と予報。水稲全般の穂葉枯病は少ないと予報。（熊本県病害虫防除所 6月30日公表）</li> </ul>
宮崎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南九州で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</li> <li>・向こう1か月間の病害虫の発生量は、早期水稲の穂いもちはやや少、紋枯病、ツマグロヨコバイは平年並、セジロウシはやや多と予報。普通期水稲の葉いもち、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウシは平年並、斑点米カメムシ類はやや少と予報。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日公表）</li> </ul>
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南九州で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</li> <li>・7月の病害虫の発生量は、早期水稲の穂いもち、紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類はやや多と予報。普通期水稲の葉いもちはやや多と予報。（鹿児島県病害虫防除所 7月3日公表）</li> </ul>

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		生産数量目標			参考			
		平成29年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）			
全 国	<p>・7月8日～8月7日の1か月間は、西日本と沖縄・奄美では期間の前半、北・東日本では期間のはじめは、気温がかなり高くなる所があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。日照時間は、西日本太平洋側で平年並が多く、北・東日本、西日本日本海側、沖縄・奄美ではほぼ平年並の見込み。 （気象庁 7月6日発表）</p> <p>（7～9月の3か月間の見通し） ・7月～9月の向こう3か月の気温は全国的に高い見込み。 降水量は、北日本はほぼ平年並、東・西日本は平年並が多い見込み。 （気象庁 6月23日発表）</p>	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103	
北 海 道	<p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北海道地方では、7月15日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.3℃以上） （札幌管区気象台 7月10日発表）</p> <p>・北海道地方の7月8日～8月7日の1か月間は、期間のはじめは気温が平年よりかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は平年より高い見込み。降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。（札幌管区気象台 7月6日発表）</p>	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102	
青 森	<p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 東北地方では、7月15日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.3℃以上） （仙台管区気象台 7月10日発表）</p> <p>・東北地方の7月8日～8月7日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり高くなり、向こう1か月の平均気温は高くなる見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （仙台管区気象台 7月6日発表）</p>	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 7月10日発表、7月6日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102	
宮 城	同上（仙台管区気象台 7月10日発表、7月6日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 7月10日発表、7月6日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 7月10日発表、7月6日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103	
福 島	同上（仙台管区気象台 7月10日発表、7月6日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102	
茨 城	<p>・関東甲信地方の7月8日～8月7日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （気象庁 7月6日発表）</p> <p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、7月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.5℃以上） （気象庁 7月3日発表）</p> <p>・鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月10日現在）</p>	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99	
栃 木	<p>同上（気象庁 7月6日発表、7月3日発表）</p> <p>・鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月10日現在）</p> <p>・渡良瀬川では、6月23日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 6月22日）</p>	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102	
埼 玉	<p>同上（気象庁 7月6日発表、7月3日発表）</p> <p>・荒川では、7月5日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月10日現在）</p>	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101	
千 葉	同上（気象庁 7月6日発表、7月3日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102	
新 潟	<p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北陸地方では、7月15日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.2℃以上） （新潟地方気象台 7月10日発表）</p> <p>・北陸地方の7月8日～8月7日の1か月間は、期間のはじめは、気温がかなり高くなる所があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （新潟地方気象台 7月6日発表）</p>	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108	
富 山	同上（新潟地方気象台 7月10日発表、7月6日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106	
石 川	同上（新潟地方気象台 7月10日発表、7月6日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104	
福 井	同上（新潟地方気象台 7月10日発表、7月6日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104	
長 野	<p>・関東甲信地方の7月8日～8月7日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （気象庁 7月6日発表）</p> <p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、7月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.5℃以上） （気象庁 7月3日発表）</p> <p>・木曾川では、6月30日から22.2%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月3日）</p>	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方の7月8日～8月7日の1か月間は、平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。日照時間は、日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並が多い見込み。（大阪管区気象台 7月6日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」近畿地方では、7月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.1℃以上）（大阪管区気象台 7月3日発表）</li> </ul>	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 7月6日発表、7月3日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国地方の7月8日～8月7日の1か月間は、1週目と2週目の気温は高く、3～4週目は平年並が高い見込み。向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。（広島地方気象台 7月6日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」中国地方では、7月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.1℃以上）（広島地方気象台 7月3日発表）</li> </ul>	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広 島	同上（広島地方気象台 7月6日発表、7月3日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山 口	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州北部地方（山口県含む）の7月8日～8月7日の1か月間は、平均気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。（福岡管区気象台 7月6日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」九州北部地方では、7月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.8℃以上）（福岡管区気象台 7月3日発表）</li> </ul>	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国地方の7月8日～8月7日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。（高松地方気象台 7月6日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」四国地方では、7月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.7℃以上）（高松地方気象台 7月3日発表）</li> <li>石手川では、7月1日から22.2%の取水制限（農業用水）が実施されている。吉野川では20%の取水制限（農業用水）が継続中。（国土交通省 7月3日）</li> </ul>	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高 知	同上（高松地方気象台 7月6日発表、7月3日発表、6月7日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州北部地方（山口県含む）の7月8日～8月7日の1か月間は、平均気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。（福岡管区気象台 7月6日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」九州北部地方では、7月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.8℃以上）（福岡管区気象台 7月3日発表）</li> </ul>	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 7月6日発表、7月3日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州南部・奄美地方の7月8日～8月7日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は高くなる見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。（鹿児島地方気象台 7月6日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」九州南部・奄美地方では、7月11日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.3℃以上）（鹿児島地方気象台 7月6日発表）</li> </ul>	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 7月6日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料):

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)  
平成28年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)  
平成29年度病害虫発生予報第4号(農林水産省 7月12日)

農作物の生育状況 7月1日現在(北海道 7月6日)、農作物生育状況 7月1日現在(北海道空知総合振興局 7月6日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道石狩振興局 7月6日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道後志総合振興局 7月6日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道胆振総合振興局 7月6日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道日高振興局 7月6日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道渡島総合振興局 7月6日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道檜山振興局 7月6日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道十川総合振興局 7月6日)、農作物生育状況調査の概要 7月1日現在(北海道留萌振興局 7月6日)、農作物の生育と農作業の進捗状況 7月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月6日)、平成29年度病害虫発生予察情報第7号7月予報(北海道病害虫防除所 6月29日)、H29水稲作況(7月10日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 7月11日)、稲作生産情報第5号(青森県 7月5日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(青森県病害虫防除所 6月28日)、平成29年度水稲の生育状況(7月10日調査速報)(中央農業改良普及センター県域普及グループ 7月11日)、平成29年度水稲生育定期調査結果No.4(7月5日現在)(岩手県農業研究センター 7月7日)、農作物技術情報第4号水稲(岩手県 6月29日)、平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第4号(7月予報)(岩手県病害虫防除所 6月28日)、平成29年度産水稲の生育状況について(7月10日現在)(宮城県農林水産部 7月11日)、平成29年度産気仙沼・南三陸稲作情報第6号(宮城県本吉農業改良普及センター 7月11日)、仙台稲作情報第4号(宮城県仙台農業改良普及センター 7月5日)、稲作情報(Vol.4)(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月4日)、栗原の稲作通信平成29年第4号(栗原農業改良普及センター 7月4日)、登米地域の稲作通信第5号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 7月4日)、平成29年度大崎稲作情報第3-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月3日)、平成29年度 美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 7月3日)、平成29年度発生予察情報注意報第2号(宮城県病害虫防除所 7月5日)、平成29年度発生予察情報発生予報第5号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月23日)、生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月10日)、平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号(7月予報)(秋田県病害虫防除所 6月30日)、米づくり技術情報No.6(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月10日)、稲作だより第7号～(オールやまがた米づくり日本一運動村山地域実践本部(北村山農業技術普及課 7月11日)、つや姫だより第3号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月6日)、おいしい米づくり情報第8号(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月10日)、つや姫通信第5号(村山総合支庁農業技術普及課 7月11日)、おいしい米づくり情報第10号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月11日)、つや姫だより第5号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月10日)、水稲直播情報第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月3日)、稲作だより第8号(最上総合支庁農業技術普及課 7月7日)、稲作だより第7号(最上総合支庁農業技術普及課 6月30日)、おきたま米づくり情報No.6(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 7月6日)、平成29年第1号おきたまつや姫だより(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部 7月6日)、稲作だより第6号(JAさがえ西村山JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日)、つや姫情報徳肥特集号(JAさがえ西村山JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日)、酒田・飽海日本一米づくり情報第7号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月3日)、酒田飽海つや姫情報第5号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月3日)、病害虫発生速報第3号対象作物:水稲(山形県病害虫防除所 7月7日)、平成29年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第4号(7月)(山形県病害虫防除所 6月28日)、主要な農作物の生育情報平成29年度第4号(福島県農林水産部 7月7日)、平成29年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(6月)(福島県病害虫防除所 6月29日)、農研速報 水稲の生育状況(6月30日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 7月5日)、農研速報 水稲の生育状況(6月27日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 7月5日)、病害虫発生予察注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月12日)、病害虫発生予報7月号(茨城県病害虫防除所 6月29日)、平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.3(早稲栽培6月22日調査結果)(栃木県 6月26日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター 6月16日)、平成29年度水稲の生育概況vol.2(平成29年7月5日現在)(埼玉県農業技術研究センター 7月5日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(7月予報)(埼玉県病害虫防除所 6月28日)、水稲の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月28日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター 6月14日)、水稲の生育状況と今後の管理対策(第5号)(新潟県農林水産部 7月11日)、稲作管理情報No.5(相崎農業普及指導センター 7月11日)、相崎地域新之助栽培情報No.5(相崎農業普及指導センター 7月10日)、H29岩船米生育速報(7月10日現在)(村上農業普及指導センター 7月10日)、FAX稲作情報No.8(三条農業普及指導センター 7月10日)、新発田地域水稲生育速報No.5(新発田農業普及指導センター 7月10日)、稲作速報No.5(新潟農業普及指導センター 7月10日)、水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 7月10日付)、7/10稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 7月10日)、平成29年度稲作生育速報No.5(佐渡農業普及指導センター 7月10日)、稲作情報No.4津南町版(十日町地域農業振興協議会 JA十日町・JA津南町・十日町市・津南町・中魚沼NOSAIセンター・十日町農業普及指導センター 7月6日)、平成29年度「上越地域米」栽培技術情報No.6(上越農業普及指導センター 7月6日)、平成29年度上越地域米 コシヒカリ・こいしづき 生育速報(6月29日)(上越農業普及指導センター 6月29日)、水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月29日)、コシヒカリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 6月29日)、平成29年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報NO.4(糸魚川地域農林振興部 平成29年6月30日)、稲作情報No.5(南魚沼農業普及指導センター 6月22日)、平成29年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第4号(7月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 6月29日)、TACS情報第6号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月4日)、直播情報(第5号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月7日)、病害虫発生予報第4号(富山県農林水産総合技術センター 6月30日)、平成29年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-7号)(石川県農林総合研究センター 7月7日)、病害虫発生予報第3号(石川県農林総合研究センター 6月15日)、稲作情報No.10[水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会) 7月7日]、平成29年度農作物病害虫発生予察予報第5号(福井県農業試験場 6月29日)、平成29年度作物技術普及情報第10号(松本農業改良普及センター)、水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 6月29日)、病害虫発生予報第3号(長野県病害虫防除所 6月15日)、平成29年度水稲生育診断情報No.3(滋賀県農業技術振興センター 7月7日)、平成29年度病害虫発生予報第6号(滋賀県病害虫防除所 7月4日)、平成29年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月1日)、平成29年度病害虫発生予察情報第2号(兵庫県病害虫防除所 5月30日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 7月3日)、稲作ワンポイントアドバイス(No.3)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 7月5日)、農作物病害虫発生予報7月(山口県病害虫防除所 7月3日)、気象情報に基づく技術対策・作物平成29年7月(愛媛県農林水産研究所 7月6日)、病害虫発生予報(7月)(愛媛県 6月30日)、平成29年度における水稲(早期・普通期)の生育状況(6月30日時点)(高知県農業技術センター 6月30日)、平成29年度病害虫発生予察予報第4号(7月)(高知県病害虫防除所 7月5日)、福岡県の主な農作物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 6月15日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(7月)(福岡県病害虫防除所 6月30日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(熊本県病害虫防除所 6月30日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(福岡県病害虫防除所・肥料検査センター 6月29日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(鹿児島県病害虫防除所 7月3日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台) 全国こう3か月の天候の見通し・全国こう1か月の天候の見通し(気象庁)、異常天候早期警戒情報(気象庁 7月10日、7月23日)、平成29年度農業用水情報(第12報)(栃木県 6月23日)、平成29年度渇水状況について(7月3日現在)(国土交通省)、平成29年度渇水状況について(7月10日現在)(国土交通省)